

立川市立第九小学校 令和2年度 研究の構想

立川市教育委員会の教育目標

- 生きる力をはぐくみ、確かな力、やさしい心、個性を輝かせ、社会のために役立とうとするすすむひとづくり
- いつでも、どこでも、だれでも自由に学ぶひとづくり
- いきいき健康、生涯スポーツを目指すひとづくり
- 歴史や伝統文化を継承し発展させるひとづくり
- 国際社会で主体的に貢献し活躍するひとづくり

学校教育目標

- 思いやりのある子
- ◎自ら学ぶ子
- たくましい子

児童の実態

- ・どの学年からも、正しく読み取る力の欠如が指摘されている。
- ・学力の向上を図るための調査の結果からも、読み取る力・読み解く力の不足が指摘されている。(過去2年間の結果から)

研究主題

**自ら問いを見出し、深く読み解くことのできる児童の育成
～国語科「読むこと」の学習を中核に据えて～**

研究のねらい

指導要領改訂に伴い、自ら問うて学び続けることができる児童の育成が求められている。そこで、学級全体が熱中して話し合って考えを深め、読む力を高められる「価値のある問い」を児童から引き出すことをねらいとし、本校国語科の授業改善を図る。

目指す児童像

特別支援分科会

- 時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えることができる児童
- 場面の様子や登場人物など、内容の大体を捉えることができる児童

低学年分科会

- 教材文から場面の様子や登場人物の行動などを読み取り、そこから感想や自分の考えをもてる児童
- 感じたことや分かったことを共有することで、教材文の楽しさを味わえる児童

中学年分科会

- 教材文から登場人物の行動や気持ちなどを読み取り、そこから感想や自分の考えをもてる児童
- 一人一人の感じ方などに違いがあることに気づき、さらに疑問をもてる児童

高学年分科会

- 教材文から登場人物の相互関係や心情などを読み取り、そこから自分の考えをもち、まとめられる児童
- 友達と考えを比べながら、作品を振り返り、再び自分の考えをもち、考えを広げられる児童

児童

教師

中心になる言葉や叙述から課題を見出す力

主体的に追究する

生活の中に活かす力

中心になる言葉や叙述から価値のある学習課題の設定

追究する力を付けるのに有効な手だて

生活の中に活かす為の場面設定と評価

研究の内容

誰が、どうして、どうなったか/時間や事柄の順序に関わることなどを把握して、全体の内容を正確に理解する。

①内容の大体を捉える

「なるほど」「おもしろいな」「もっと知りたい」「ここが不思議」などの感想(思い)をもつ。

②自分の考えをもつ

詳しく知る、伝えたいことは何か、段落の相互関係、要旨を捉える、叙述をもとに行動や気持ち、登場人物の相互関係などを捉えるためにもう一度読む。

③もう一度読む・学級全体が熱中して話し合う

④再び考えをもつ

もう一度読んだことで、②の感想(思い)とどのように変容したのか比較する。
③で読み取った内容と関連付けて自分の考えをまとめる。

①～④で学習した読み方や考え方を使得、他の作品を読む。

⑤生かす